指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	西区市民部地域振興課(641-6926)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市はちけん地区センター	所在地	西区八軒6条西2丁目
開設時期	平成18年4月1日	延床面積	1327.01㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール・集会室(3室)・図書室		
2 指定管理者			
名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募		
	<p>非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。</p>		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「はちけん地区センター」の指定管理を最初に受けた平成18年度、その管理運営に向けて当時のスタッフで時間をかけた話し合いを行い、以下の7つの基本方針を掲げた。この方針は、スタッフ全員に受け継がれており、令和5年度もこの方針に基づいた運営を実施して来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子どもの成長を支え合う為に ②高齢者の力を地域に発揮する為に ③団塊の世代の力を地域づくりに活かす為に ④障がい・世代を超え開かれた場になるように ⑤地域の課題に応えるように ⑥地域の担い手の要請・ネットワークづくりになるように ⑦地域住民の学習を支え、共に学ぶ場に </div>	<p>▼「はちけん」の管理運営に関わる基本方針は、この7点に集約されている。スタッフの入れ替えの際にも確認、この原則に従って講座や事業を立案している。開館から18年が経過し③団塊の世代と②高齢者は同意語になりつつある為、近年は高齢者に係る事業に力を入れている。</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>要求水準が満たされており、適切に管理・運営されている。</p>	A	B	C	D
	A	B	C	D			
<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼貸室業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「使用承認取扱要領」の順守による運用を徹底 ②貸室のルールについて利用者に向けた繰り返しの説明 ③予約重複の場合、利用者による直接抽選を推奨 ④利用希望重複の場合、時間をずらす事で双方の希望が適えられないか等、スタッフが間に入って調整。 <p>▼区民講座・交流事業</p> <p>受講や参加申込に不公平が生じないように、講座内容等を知らせる媒体の発行時期と申込受付日の関係を常に念頭に置いて企画。告知の方法もHPや館内ポスター・地区センターニュース・札幌市のイベント冊子・フリッパーなど、多くの媒体を使って情報に触れる機会に格差が生じない広報活動を実施。</p> <p>▼アトリウムのフリースペース</p> <p>目的の違う人たちが共存できるよう、自習コーナー・バス待合スペース・飲食可の休憩スペースを提供している。階段下の自習コーナーは定員を10人に戻し、テスト期間や受験時期にはたくさんの学生たちが集まる。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼料金高騰が続く電気・ガスについては常に節約に努め、利用者の用途に応じて室温設定を訊ねながら、こまめなON・OFFを心がけた。また、施設内の不要な照明の消灯に努め、トイレの便座や温水の設定温度を季節によって変えるなど、できる限りの節電を心がけた。</p> <p>▼裏紙の活用やコピー機能の活用で紙の使用料削減に努力。図書業務日報は、全ページ裏紙を利用している。コピー用紙・カラーペーパーは森林認証制度のFSCマーク・PEFCマークのものを使用。洗剤やアルコール等は、ボトル買いせず詰り替え用を購入している。</p>	<p>▼貸室業務については「使用承認取扱要領」を遵守する事で公平性は確保。管理者としては、その上で丁寧で親切な説明が不可欠との認識で対応している。</p> <p>▼貸室の抽選、講座の受付等の業務は決められたルールに従って進めており、利用者からのクレームは無い。</p> <p>▼ルールが守られているかの確認も含めて、職員が定期的に巡回し適切な対応を行っている。</p> <p>▼R5年4月より、札幌市の「環境配慮評価基準」を満たす小売電気事業者である北海道電力㈱と契約することができて、安心できた。</p> <p>▼ガスの使用量は前年度の90.18%。電気の使用量は前年度の98.95%だった。</p>						

▼新聞・ダンボール・雑誌・雑紙・シュレッダー等の資源回収に努め、「事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書」を札幌市に提出。コロナによる規制が解除になり、利用者の増加と共に一般(廃棄)ごみが増加し再利用率が前年度より下がってしまったが、引き続き廃棄物の排出抑制に努めたい。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼令和5年度の組織・人員配置

職種	配置部署	職務	形態	数
館長	事務室	事務・統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・経理	常勤	1
事務	事務室	事務・夜勤	非常勤	6
司書	図書室	図書	常勤	1
図書	図書室	図書	非常勤	3
清掃		清掃	非常勤	4

(令和6年3月末時点)

▼人材育成・各種研修への参加

- ①6月 札幌市のSDG's取組み、成果報告(全員)
- ②9月 インボイス制度スタートに伴う研修(事務スタッフ)
- ③9月 コンプライアンス研修(館長)
- ④10月 安全衛生推進会議(副館長)
- ⑤10月 労務管理研修(館長)
- ⑥11月 市公式HP担当者レベルアップ研修(2名)
- ⑦11月 全国危機管理研修(館長)
- ⑧12月 ゼロカーボンと私たちの未来(全員)
- ⑨12月 ホール音響機器取扱い勉強会(全員)
- ⑩3月 市情報セキュリティ研修(全員)
- ⑪3月 ちえりあ研修・学ぶ事が人々にどう影響するのか・高齢者とのコミュニケーション(1名)

※▽防災の項目と、▽図書業務の項目に別途記載。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼様々な利用者対応に、職員間の認識のズレが起こらないようにするには、何よりも業務日報の活用が有効だ。シフト制で運営されている現場にとっては、日報を基にした情報共有・問題点への共通した対応が必要になる。同様に、夜勤スタッフへの引継ぎの役目も果たす「夕礼」・月に1度の職員会議など様々な機会に職員間のコンセンサスを図っている。

▼令和元年より、迷子やケガなど困りごとを抱えた高齢の来館者への対応に特化した「ノート」を作り、職員間で情報共有している。家族や施設・民生委員・第一包括など必要などところにつなぐことができています。

▼協定書に添って館長・副館長・図書司書を各1名配置。

▼協定書に添って、事務室の昼・夜とも常時2名体制を維持。図書も常時2名で対応。

▼清掃は4名のスタッフが日常清掃を交代で担当、WAXなどの定期清掃は全員で仕様書に基づいて実施している。

▼年度当初、札幌市に提出した「スタッフ年間研修計画」に基づいて具体的に研修を選び、Web・会場・職員会議内など、いろいろな形態の研修に参加。

▼月1回の職員会議で参加者から内容の説明、資料ファイルを作製し研修内容をスタッフ間で共有できるように心がけている。

▼業務日報には、AEDの「使用可」をチェックする欄を設けて、毎朝チェック。AEDに対する意識を常に持てる工夫をしている。

▼「ノート」を作ることによって他団体との連携がよりスムーズにとれるようになった。

▼「西区コミュニティ施設館長会議」は西区内4館と地域振興課により毎月1回行われている。フォーカズ6館による「コミセン会議」も月1で行われている。どちらの会議も情報交換や報告・相談など、施設運営の上で大切な役割を負っている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

【令和5年度の第三者委託業務】

- ①機械警備 ②自家用電気工作物保守点検
- ③エレベーター保守管理 ④自動ドア保守管理
- ⑤ボイラー設備保守管理 ⑥消防設備保守管理
- ⑦舞台装置吊り物保守管理 ⑧建築基準法定期点検
- ⑨高所窓ガラス清掃・図書室カーペット・屋上ドレイン清掃
- ⑩除排雪

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 (令和5年 7/27)	令和4年度活動報告・令和5年度第1四半期活動報告・令和5年度第2四半期活動予定・その他=5年度運営協議会の開催日程 指定管理の更新について。 (会場:はちけん地区センター会議室)
第2回 (令和5年 10/19)	第2四半期活動報告・第3四半期予定・その他=令和4年度指定管理者評価シートの内容について等。 (会場:西区館長会議の場)
第3回 (令和6年 1/18)	第3四半期活動報告・第4四半期の活動予定説明・その他=はちけんティッシュ協力隊について (会場:西区館長会議の場)
第4回 (令和6年 3/18)	第4四半期の活動報告・令和5年度利用者アンケートのまとめ報告・令和6年度の活動予定説明・その他=ティッシュ協力隊続報・施設備品の老朽化と経年劣化について・利用者についての困りごとを相談。 (会場:はちけん地区センター会議室)
<p><協議会委員></p> <p>西区市民部地域振興課長</p> <p>八軒連合町内会・八軒中央連合町内会会長</p> <p>読み聞かせの会メンバー</p> <p>八軒中央地区福祉のまち推進センター事務局長</p> <p>八軒連合町内会民生・児童委員協議会会長</p> <p>センター館長・センター副館長</p>	

▼2つの会議に参加することで、思い込みを無くし、相談や見解の統一を図るメリットがある。

▼外注先の選定は市内業者数社から相見積を取り決定。札幌市に第三者委託の申請を行い、承認を受けている。

▼仕様書に定められた作業内容・回数を遵守し、報告書類も適切に管理。

▼地域や利用者の施設に対する要望を探り、お互いに協力できる関係を築き上げるための場とすると同時に、施設の活動のPRや相談の場としても活用している。

▼第2・3回の資料は各委員に後日配布。

▼委員のお一人が7月に急逝された。5年度については代替メンバーを選ばずに1名減のまま開催。

▼R5年10月頃より来館するようになった利用者について、対応の難しさを相談。その後協議委員のご尽力により、当事者と第1包括支援センターがつながることができた。運営協議会の機能が広がり、ありがたい結果の事例となった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

・指定管理業務に関する収支については独立した帳簿・預金口座を作り管理。
 ・現金・有価証券・領収書等の管理は、定められた規定に則って管理を行なっている。
 ・利用料金・講座受講料等の収入は翌日に専用の銀行口座に入金、またこれら収入は月毎の全額を翌月始めに所属組織の本部口座に送金しており、事務所内には必要最低限の現金だけを置く体制で運営している。
 ・現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備して各帳簿の表紙の裏に貼り、常に確認できるようにしている。

▼経理・財務担当者は毎月開かれる所属組織の経理担当者会議に参加、相互に伝票等のチェックを行い、処理方法を統一している。

▼利用料入金分金種表一覧は、日に2回作成し、それぞれダブルチェックを行っている。

▽ 要望・苦情対応

・利用者アンケートで出された要望について可能なモノは即対応(利用者アンケートの項目に記載)
 ・札幌市や西区に届いた苦情があった場合、原因の究明と今後の対応・返答に到るまで、正確に誠実に迅速に向き合う姿勢で対処してきた。
 ・利用者の要望を日常的に聞くため、「利用者の声」回収箱を設置している。

▼利用者アンケートの結果は後述。

▼自習コーナーの席数を戻してほしいという「利用者の声」があったが、コロナ5類移行後に10席に戻すことができた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

・日常業務では事務室・図書室とも日報を記載、夜勤者との引継ぎは、日報を元に情報を共有、問題点への対応を考える場を持っている。
 ・事務(夜勤を含む)、図書、清掃が職種毎に月1回の話し合いを行ない、これとは別に全スタッフによる会議を月1回持つ事で、シフト勤務職場にありがちな情報格差の解消に努めている。
 ・実施する講座はすべて参加者アンケートを実施。理解度・満足度を測る他に、次に役立つ要望や意見を収集している。
 ・西区による実地検査に対応。
 ・12月にR5年度の利用者アンケートを実施(配布=900部。回収=639部)
 ・札幌市への事業報告は、毎月の月報と、年に1度の年報で行っている。その他に、札幌市からの問い合わせには適宜対応している。

▼2月19日に西区による実地検査が実施された。財務検査・業務検査ともに、指摘事項はなかった。

▼アンケート結果は、冊子にしてアトリウムに1か月間設置。来館者が手に取って読んでくれるような工夫をした。

(2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▼労働関係法については遵守し、必要な届けを提出。
 ▼指定管理の新たな更新を機に令和5年4月1日からは施設で働く非常勤スタッフの基本時給を920円から1,000円に改定した。(R5年10月改定の北海道最低賃金は960円) その他に「3年以上勤務で+15円の経験手当」・「司書資格者には更に+10円の司書資格手当」を支給している。
 ▼全職員の有給休暇取得状況を可視化し、取得の進む環境にしている。年10日以上有給付与されている職員については、年5日以上の取得義務を遵守。また、常勤者は7~10月にリフレッシュ休暇3日間を取得することができる。

▼「36協定届」令和5年4月1日から1年間分提出(R5/2/20)
 ▼基本時給1,000円改定に伴い、就業規則変更届を札幌中央労働基準監督署に提出(R5/4/28)
 ▼有給休暇取得数・残数は、一人ひとりの有給一覧表の作成と、給与明細にも明記し、取りやすい環境を整えている。

A	B	C	D
労働関係法令が遵守されており、また、雇用環境の維持向上にも努めている。			

	<p>▼5年度中、施設で働くスタッフの時間外労働、休日労働、深夜労働は無し。</p> <p>▼施設で働くスタッフは、1週40時間、1日8時間を順守した。</p> <p>▼全てのスタッフを労災保険に、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。</p> <p>▼スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて厚生年金保険、健康保険に適切に加入させた。また、変更があった場合は必要に応じて適切に届出を行なった。</p> <p>▼新しいスタッフの雇入れ時には健康診断を実施している。(5年度については新たな採用は無かった。)</p> <p>▼スタッフ全員に年に1度健康診断を受けてもらい結果を把握。再検査や生活習慣病などの診断があった場合は、産業医から適切な指示等を受けている。</p> <p>▼労働基準監督署からの行政指導は受けなかった。</p> <p>▼指定管理者の申込時に提出したワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。</p> <p>▼所属組織である労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団が定めた規定に則り、就業規則を作成している。育児介護休業規定・パワハラ防止・セクハラ防止・個人情報保護規定等、適宜更新された内容で運用されている。</p>	<p>▼社会保険加入者の協会けんぽ健康診断の費用は事業所が負担。</p> <p>▼パートスタッフの特定検診には1,500円を上限に補助。</p> <p>▼インフルエンザワクチン接種者には、上限1,500円の補助を行っている。</p>									
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼施設、敷地内は事務・清掃スタッフが日常的に目を配り、利用者の安全を脅かす状況がないかをチェック。</p> <p>▼スタッフの連絡網については、人の入れ替わりや、転居、携帯の変更等があった場合には速やかに更新している。(令和5年度についてはスタッフの入れ替わりは無し)</p> <p>▼外注業者の他、水漏れ対応、鍵対応などの緊急連絡先をリストアップして事務室内に用意。シフト勤務で緊急事態に当たったスタッフが誰でも対応をとれるようにしている。</p> <p>▼加入保険 ①ワーカーズコープ本体が「賠償責任保険」(人的補償・一人につき1億円、一事故につき4億円をカバー)に加入している。R5年度からは仕様書に則り、指定管理者及び札幌市を被保険者にした交差責任担保特約を付けた。現金の取扱いに関わるいわゆる「マネー保険」も上乘せされている。 ②更に施設が主催する事業の参加者の事故に対応する「レクリエーション保険」に加入。 ③施設の活動に参加してくれるボランティアの方については社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」に加入。</p>	<p>▼5年度、賠償責任保険を使う事例は無し。</p> <p>▼「レクリエーション保険」には必要に応じて講座やイベントの参加者を登録。</p> <p>▼「ボランティア活動保険」には、おはなし会の読みきかせボランティア・花壇整備のグリーンボランティアや清掃ボランティア・地域ボランティアの方々を登録。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>要求水準が満たされており、適切な施設・設備等の維持管理業務が行われている。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼機械警備・電気設備・自動扉・エレベーター・消防設備・舞台吊り物・ボイラー・の保守点検および、高所窓ガラス清掃、図書室カーペット清掃、屋上ドレイン清掃、除排雪、建築物定期点検は第三者委託。

▼他施設の場合、清掃業務を外注するケースが多いが、当館は4名のスタッフが日常清掃を交代で行っている。WAXなどの定期清掃は、全員で仕様書に基づき実施している。

▼施設の設備・備品管理、駐車場管理はできる限りスタッフ全員で行っている。

▼敷地内の植栽管理は基本的にスタッフが担当。高い樹木の剪定は2~3年に1度専門の業者に依頼する。花壇整備についてはスタッフと地域の愛好家が立ち上げたグリーンボランティアサークル「花コパン」が協力して花壇作りを行なっている。

▼1階・階段下の「自習コーナー」側の窓(外側)への植栽による「緑のカーテン」(日除け効果)を引き続き実施。例年、札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課に申請して送ってもらった種をプランターに蒔くところから行っている。

▽ 防災

▼5年度に参加・実施した防災関係活動

・7/21 スタッフによる消防訓練 (3名参加)

・1/23スタッフによる消防訓練 (7名参加・通常の訓練に加えて、火災受信盤と放送設備の表示と扱い方を学んだ)

・札幌市防災協会主催「普通応急手当講習Ⅰ」
12/19・1/22 計3名参加

・毎月中旬に建物関係の定期自主検査を実施

▼各業務とも、仕様書に基づき必要な回数を実施、報告書も適切に管理している。

▼5月、「花コパン」メンバーとのコラボ企画で、地域住民対象の交流事業「地域のみんなで花壇整備」を行った。他にも、刈り取ったラベンダーを来館者にプレゼントする企画も行っている。地域住民に喜ばれる素晴らしい花壇作りをして頂いている。

▼令和5年度は朝顔・インゲンを植えた。

▼自衛消防訓練は、業者による消防設備点検に合わせて年2回行い、札幌市西消防署に報告書を提出。

▼札幌市防災協会主催の救命講習は、毎年交代で参加している。

(4)事業の計画・実施業務

▽区民講座に関する学習機会の提供

	5年度年度計画	5年度実績
講座数	12	14
回数	25	20
受講生数	475	159

講座名			
定員	受講者数	成果指標	達成率
初めてのバレトン			
10	10	受講生の満足度	125%
自己ベストをめざそう かけっこ教室			
20	18	受講生の満足度	113%
ゴムバンド体操教室			
7	6	受講生の満足度	125%
みんなで踊ろう ベリーダンス			
30	18	受講生の満足度	101%

▼他団体と共催の大規模な講座が実現できず、受講人数は計画を大幅に下回ったが、講座数は計画を上回ることができた。

▼バレトン・かけっこも「はちけん」としては新種目だったが、いずれも定員一杯で好評。前年から続くゴムバンド体操やベリーダンスとも併せ、運動系の講座の人気の高い事が再認識出来た。

A	B	C	D
成果指標の達成率を大きく上回る事業が多く、また地域で活動する方々と協力しながら、地域住民の交流の場をたくさん創出している。			

夏休みミサンガ教室			
10	11	受講生の満足度	125%
夏休みレジン教室			
20	20	受講生の満足度	125%
多肉植物寄せ植え講座			
10	14	受講生の満足度	125%
親子食育料理教室「野菜はともだち」			
8	7	受講生の満足度	125%
包丁研ぎ教室			
10	10	受講生の参加者数	125%
ピラティス講座			
10	10	受講生の満足度	119%
ホームベーカリーで作るお手軽肉まん			
8	8	受講生の満足度	125%
ぬいぐるみのおとまり会			
7	7	受講生の満足度	125%
冬休みこども将棋教室			
10	12	受講生の満足度	123%
もちもちおやき信州風			
8	8	受講生の満足度	125%

▼夏休みの子ども向け講座、ミサンガ教室は「はちけん」のスタッフが講師を担当。

▼「野菜はともだち」は西区食生活改善協議会との共催。

▼「包丁研ぎ」は市リサイクルプラザとの共催で実施。

▼肉まん、もちもちおやきの二つは講師と助手をスタッフが担当する正に手作りの人気講座。

▼おとまり会、将棋講座は前年に続いての企画で、今後「はちけん」の定番になって行く事が予想される。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	5年度計画	5年度実績
事業数	6	9
回数	23	19

事業名			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
みんなのひろば「推しの桜」3/24-5/21			
200	675	参加目標の80%	421.9
みんなのひろば「鯉のぼりを飾ろう」4/16-5/7			
200	310	参加目標の80%	193.8
みんなのひろば「七夕に短冊」7/16-8/7			
200	438	参加目標の80%	273.8
みんなのひろば「クリスマス飾り」11/24-12/26			
250	517	参加目標の80%	646.3

▼コロナ禍に生まれた「みんなのひろば」、好評を受けて来館者参加型の催しとして定着している。来館する子どもだけでなく大人達も積極的に短冊や用紙に願い事やテーマに沿った内容を書いて貼り付けてくれている。見る楽しみもあるのが「ひろば」の魅力。

▼コロナの影響による中断期間にも再開の要望が多数寄せられていた人気企画「うたの会」。5月から「参加者はマスク着用」の形で再開したが、毎回多くの参加者を集めている。

事業名			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
「サロン・ド・ハッチ・うたの会」5月～第二金曜			
550	573	来場目標の80%	130.2

事業名 「地域のみんで花壇整備」5/12			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
10	8	参加者数	100.0

事業名 「はちけん健康フェスタ」11/3			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
200	232	来場目標の80%	145.0

※前年度に続いて静和記念病院の協力を得て開催。

事業名 「綿谷さんのおはなしを聞く会」8/5			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
15	11	来場目標の80%	91.7%

事業名「はちけん・ティッシュ協力隊!!」10/20～11/19			
箱ティッシュ46・ポケットティッシュ489・マスク115			
その他ペーパータオル・生理用品など			
※第2弾11/9～12/28・第3弾1/4～ 毎回たくさんの日用品が寄せられている。			

▽ 施設活用事業(無料)に関する業務

	5年度計画	5年度実績
種目数	6	10
実施枠数	84	85
総時間数	219h + α	227h + α
参加者数		1,378 + α

リフレッシュ運動教室(春・秋 計24回)	
参加者総数	440名
総時間数	48

※「介護予防センター八軒」との共催。地域の高齢者向けの運動教室。春・秋の2コースを開催。開催6年目。

親子限定活用	
参加者総数	149名
総時間数	36

※第2日曜 9時～12時。親子限定で広いホールを提供。

▼サークル「花コパン」が種から育てた苗を地域住民を募り敷地内の花壇に移植。

▼集会室やアトリウムで、医師による講話や相談コーナーを行った。ホールでは八軒西小よみきかせクラブのパフォーマンスや、プラバンコーナーなど、前年度より賑わった。

▼5/8からアトリウムで活動報告のパネル展示をしていた「長期入院の子どもと付添い家族を支える会」NPO法人イナクル代表・綿谷さんから具体的な活動内容を披露して貰う場を設けた。▼更に、この活動に協力する目的で、ティッシュペーパー等の日用品を集めて寄贈することを呼びかけたのが「はちけんティッシュ協力隊」、R6年度も継続中。

▼参加者数については展示企画を含む為「+α」としてある。

▼初回と最終回に運動機能の測定を行うが、多くの参加者の機能と骨密度のアップが確認されている。再参加希望者も多数。

▼4月は一日5組限定・予約方式でスタートしたが、5月からはこの縛りを無くして実施。

親子・子ども活用	
参加者総数	90名
総時間数	38.5

※5月から第2日曜 13時～16時半。親子や小・中学生の子ども達に自由に遊べる広い空間(ホール)を提供。

卓球活用	
参加者総数	149名
総時間数	66

※5月から第3金曜13時～16時半ホール全面・第4月曜18時～20時半ホール半面で実施。

バドミントン活用	
参加者総数	64名
総時間数	27.5

※5月から第4月曜18時～20時半ホール半面で実施

おはなし会(毎月第三土曜開催・年12回)	
参加者総数	320名
総時間数	6

※「第3土曜・10時半～・A室+アトリウム」での開催スタイルが定着し、毎回20～30人の人が訪れてきている。

八軒北小2年生「まちが大すき、たんけんたい」	
参加者総数	81名
開催期間	7/11 2時間

※小学生による施設見学、地域の公共施設の存在についてよく知って貰う為、質問時間等多めに確保して説明に努めた。

はちけん夢あかり ちょうちん作り	
開催期間	7/22 3時間

※八軒中央地区青少年育成委員会の活動を応援。

西区食生活改善推進員 活動パネル展示	
開催期間	4/18～5/15

※西区食生活改善推進員の活動を応援。

▼5月から追加した事業。参加者に年齢差が生じる為、固いボールの使用を禁止する等の配慮をしながら実施している。

▼再開した当初の参加者は一桁が続いたが、ロコミ効果で確実に増えて年度後半は二桁で安定。それでもコロナ前の混雑状態は見られず、和やかな状態で実施出来ている。

▼有料でバドミントンに来るサークルは増えている一方で、活用事業の種目としては混雑するまでには至っていない。

▼おはなし会はサークル「おはなしぐるーぶ・ハッチ」による地域に定着した人気企画。8月の会には八軒西小ミニ児童館の子ども達が参加、この子ども達は11月の健康フェスタでも読み聞かせを披露してくれた。

▼子ども達に貸室の説明をする際、ホールや集会室を利用中の方々に事前の了解を得て、各サークルの活動を見学・体験する協力をいただいた。

▼琴似中央小、八軒北小の児童に加え八軒中美術工芸部の生徒や大人達、計85人がホールに集合、地域の納涼まつりに飾る提灯作成の場を提供した。

▼6/14スタートの「推進員養成講座」受講生募集に合わせたパネル展示も3回目となる。

書道サークル 習作展	
開催期間	7/6～7/13

※書道サークルの活動を応援。

▽ 図書業務

・利用状況【貸出冊数・レファレンス件数】

	4年度	5年度	増減
貸出冊数	95,209	100,225	+5,016
レファレンス件数	2,331	3,036	+705

・図書スタッフの外部研修参加

- ①7/10 地域と共に成長する図書館
- ②12月 DXと図書館の近未来
- ③2月 楽しく伝えるデザインへ
- ④職場の悩みや意見交換

※①②③は中央図書館の動画配信研修。

※④はワーカーズコープ5館の図書スタッフによる自主研修。

▼大人の書道サークルに小学生が二人加わり、日ごろの成果を発表したいという先生のご希望があり、アトリウムの空間を活用して習作展が実現した。

▼年間貸出冊数が10万冊を超えたのは「はちけん」図書室として初。

▼WEB研修には図書スタッフ全員が参加。

▼ワーカーズコープが指定管理者を務める施設による図書研修は、毎年主催を持ち回りで実施。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績
ホール	件数(件)	1,228	1,746	1,166
	人数(人)	21,710		21,406
	稼働率(%)	94.6		89.1
集会室A	件数(件)	845	930	909
	人数(人)	4,830		5,072
	稼働率(%)	77.5		81.7
集会室B	件数(件)	843	897	892
	人数(人)	3,940		4,254
	稼働率(%)	77.7		80.5
集会室C	件数(件)	917	1,104	1,006
	人数(人)	3,552		4,209
	稼働率(%)	79.1		83.5

▽ 不承認 0件、取消し 0件、減免 0件、還付 0件

▼近隣施設の改修工事による休館で、ホールの利用に影響があったが、R4年度ほどの増加には至らなかった。

▼全体の利用率は83.7%で前年度の82.3%から増。部屋別に見ても4部屋全てが80%をクリアしている。特にホール(スポーツ系利用)と簡易防音設備を備えたC室(楽器練習)の利用率が高い。

A	B	C	D
高い稼働率を維持していることに加え、全体としても前年度の数値を上回っている。			

▽ 利用促進の取組

・集会室が3部屋と少ないため、利用希望が重なる場合が多い。他の部屋が空いている場合は、そちらへの振り替えを依頼する他、キャンセルの申し出があった場合は「変更措置」を勧める等して利用件数を確保するように努めている。

・申し込みの際使用目的を聞いて各室の特長(A室:ランケーブル使用可・B室:調理可能・C室:簡易防音)を説明し、時には利用する部屋を他団体と調整することもある。

・「市内地区センターの中で部屋数が最少」という条件下で需要が高まる「時間貸し」に対応し、要望があれば空き時間を設ける事なく利用して貰っている。

▽時間貸し・昼食時間帯・夕食時間帯の利用状況

	時間貸し		昼食	夕食
	件数	時間数	件数	件数
R3年度	469	806	113	98
R4年度	874	1,559	182	120
R5年度	928	1508	272	194

▽HPからの貸室利用申込状況

	3年度	4年度	5年度	前年比
申込件数	226	374	376	+2

▽キャンセル件数とそれに伴う入金額

		3年度	4年度	5年度
ホール(全)	件数	2	2	21
	金額	23,000	10,350	143,060
ホール(半)	件数	2	2	1
	金額	5,650	7,800	2,150
集会室A	件数	7	2	6
	金額	4,400	1,550	2,370
集会室B	件数	5	16	39
	金額	1,395	4,095	16,115
A+B	件数	0	4	4
	金額	0	2,400	2,180
集会室C	件数	8	6	10
	金額	3,240	3,880	5,500

▼C室希望の音楽サークルが重複した場合、予約状況や音量を考慮しながらA、B室の利用を促す等して、極力断らない努力を重ねている。

▼部屋の入れ替えをスムーズに行なう為、事前に利用者への説明と協力依頼を丁寧に行い、スタッフが手際よく動く事に対応、これにより利用者からの不満は出されていない。

▼時間貸し、昼食・夕食時間帯の利用はここ数年確実に増えているが、その一方で、従来正規枠で利用していたサークルが時間貸し利用に変更したり、中には正規枠から5分だけ前倒して正規と同じ時間数を使って利用料を安価に済ますケースも生まれている。

▼HP経由の申込は着実に増加傾向にある。

▼当館のキャンセル件数は、それ程多くはない。R5年度キャンセルが増えている「ホール」や「B室」は、特定のサークルに偏っている。キャンセル処理は双方の負担となるため、その都度確実な日程での申し込みをお願いしている。

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼「はちけん地区センターニュース」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①八軒の二つの連合町内会 の協力を得て、地域の11,509世帯に回覧②センターニュースは毎号拡大版を作り館内にも掲示。</p> </div> <p>▼イベント冊子「札幌市からのお知らせ－西区版」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>西区地域振興課や広聴係の協力を得て講座・交流事業等を広報。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>同じ内容を、地デジ・アプリを使って広報</p> </div> <p>▼地域新聞「ふりっぱー」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>イベント冊子と同じ内容を、西区のイベント情報として、「札幌西区・手稲区版」に掲載。</p> </div> <p>▼道新コミュニティ紙への紹介記事掲載</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例年、地元新聞店のミニコミ誌「さとぶん通信」「まちコミュ310」や道新「さっぽろ10区」にイベントや講座・「はちけんみんなのひろば」等の取材を受けて掲載されている。</p> </div> <p>▼HP、ウェブアクセシビリティの取り組み</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前年度から定めたウェブアクセシビリティ方針に基づき、JIS検査の実施と評価結果をHP上に公開した。HP更新作業に携わるスタッフの作業能力も徐々に向上し、順調な運用が続いているが、これからも知識とスキルのアップデートを怠らない努力を続けていきたい。</p> </div>	<p>▼R5年度はN0.229からNo.239までの11回発行。地域住民への周知効果は引き続き高い。</p> <p>▼講座の受講者等へのアンケートでは「ふりっぱー」の媒体効果の高まりが感じられる。</p> <p>▼R5年度は、「はちけん健康フェスタ」などが掲載された。</p> <p>▼取組ポイント数は30点満点中24点を獲得した(R4年度は21点)11月には市公式HP担当者レベルアップ研修に2名が参加した。</p>	A	B	C	D
	<p>適切に実施されているとともに、アンケート結果等から効果について分析できている。</p>					
	<p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼引継ぎ業務は無し。</p>					

2 自主事業その他						
▽ 自主事業	<p>▼R5年度、自主事業は行ってない。</p>	<p>▼吊り物点検の業者は恵庭の会社だが、市内コミセンのほとんどを手掛けている。</p> <p>▼大雪のたびにきてくれるAさんは、貴重な戦力として欠かせない存在だ。</p> <p>▼11月の健康フェスタには、7つの福祉作業所等が参加。</p>	A	B	C	D
	<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼市内企業の活用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>外注の10業務中、9業務は市内企業に委託。</p> </div> <p>▼福祉施策への配慮</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・有償ボランティアとして6年目になるAさんには引き続き週1回の定期清掃業務・外回り整備等の他に、冬季に10cm以上の積雪があった日には外回りや屋上の除雪を依頼。更には定期清掃のWAX掛け作業でも力を借りている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・フェスタ等の交流事業の際には、福祉作業所等の製品販売を行って販路拡大に協力している。作業所ごとに販売するものが違うので、イベントの参加者もパンや焼き菓子の購入を楽しみに来てくれている。</p> </div>		<p>市内企業の活用に努めているとともに、福祉施策への配慮も行っている。</p>			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	▼実施期間: 12/1~12/28
	▼配布数: 900(窓口500・図書400)
	▼回収数: 639(窓口414・図書225)

結果概要	▼利用者の性別				
		貸室	図書室	計	比率(%)
	男性	88	79	167	26.2
	女性	311	139	450	70.8
	無回答	15	4	19	3.0
計	414	222	636	100.0	

▼利用者の年代

	貸室	図書室	計	比率(%)
~20代	48	11	59	9.3
30代	28	21	49	7.7
40代	52	34	86	13.5
50代	62	38	100	15.7
60代	70	43	113	17.8
70代	115	64	179	28.2
80代~	35	10	45	7.0
無回答	4	1	5	0.8
計	414	222	636	100.0

▼利用者の居住地域

地域	貸室	図書室	計	比率(%)
八軒	178	174	352	59.9
西区内	97	25	74	12.6
他区	113	22	135	23.0
市外	7	0	7	1.2
無回答	19	1	20	3.4
計	414	222	588	100.0

▼利用頻度

	貸室	図書室	計	比率(%)
週に数回	104	42	146	23.0
月に数回	204	159	363	57.1
年に数回	44	15	59	9.3
初めて	33	5	38	5.9
無回答	29	1	30	4.7
計	414	222	636	100.0

▼回収率は71.0%、前年度から実施時期を2月から12月実施に変更した事が奏功して回収率がアップしている。

▼利用者の性別比率では、女性:男性が7:3となる傾向は開設当初から変わっていない。R5年度からは、回答欄に「無回答」を設けた。

▼利用者の年代別構成は、基本的に施設オープン以来大きな変化は見られず、50~70歳代が6割を占めている。しかしアトリウム内のフリースペースである「自習コーナー」の利用の中心は学生。これらの若者については利用者の実数には繁栄されておらず、実際には若年層の利用率はもっと高い。

▼利用者の居住区域、利用頻度とも、例年と同様の傾向が現れた。アンケートを実施する一か月、施設を使用するサークルや図書利用者の活動パターンが安定して来ている結果と考えられる。

A	B	C	D
---	---	---	---

各項目で利用者より、要求水準を超える高い評価を得ている。

▼スタッフの対応

	貸室	図書室	計	比率(%)
とても良い	258	178	436	68.7
良い	115	38	153	24.0
普通	32	5	37	5.7
悪い	3	0	3	0.5
とても悪い	0	0	0	0.0
無回答	6	0	6	0.9
計	414	221	635	100.0

▼再度の利用希望

	貸室	図書室	計	比率(%)
ぜひ利用したい	275	187	462	72.6
利用したい	117	32	149	23.4
どちらかと言えば利用したい	13	2	15	2.3
どちらでもない	3	1	4	0.6
利用したくない	0	0	0	0.0
無回答	6	0	6	0.0
計	414	222	636	100.0

利用者からの意見・要望とその対応

▼アンケートの自由記載欄から

【貸室利用・フリースペース等】

- ・駐車場が広く便利な立地で来易い。
- ・バスの便が悪い。歩いて来るので遠い。
- ・きれいに清掃されて使い易い。
- ・いつも笑顔で迎えてくれて感じが良い。
- ・スタッフの皆さんが親切で優しい。
- ・清掃が行き届いていて気持ち良い。特にトイレはきれい。
- ・要望した事にすぐに対応してくれた。
- ・The staff are always friendly usually with big smiles on their faces.
- ・体育館、親子開放がもっとあれば嬉しい。
- ・卓球の回数を多く希望。
- ・ミニバレー、バドミントンの支柱が使いづらい
- ・体育館にベンチが欲しい。

【図書室】

- ・小さいけれど静かで好き。
- ・図書室スタッフの方が優しく親切で通い易い。
- ・書架が整理されていて本が探し易い。
- ・初めて来たが、とても感じが良かった。
- ・いつも穏やかな対応が心地良い。
- ・予算の都合もあると思うが、新しい本を入れて欲しい。
- ・札幌駅周辺にも本の借受・返却が出来る場所が欲しい。
- ・本の取り置き日数が短い。
- ・借りた本の履歴が見られると便利
- ・人気のある本の在庫増やして、1年以上待つ事がある。

▼「とても良い・良い」の評価は92.7%。この高水準の評価は施設オープン以来継続しており、これが「はちけん」の大きな財産であり、『再度の利用希望』に対する回答で「ぜひ利用したい」「利用したい」の合計が96%という結果に繋がっている。

▼その他、館内の清掃状況についても、「とても良い、良い」の評価だけで、93.3%となっている。

▼利用者アンケートの結果については、運営協議会の資料として添付した。

▼アンケートでは「1階事務室向け」「2階図書室向け」の各々に自由記載欄を設け、定型の設問以外の意見・質問・要望を書いて貰っている。

▼施設活用事業の回数については、R5年度より有料利用にiggされることのないように、毎月1回ずつ固定して開催していることを、理解してもらおう努力を続けたい。

▼図書室に対する要望の内容は、毎年と同様だが市図書館全体の考え方に関するモノが多く、「はちけん」個別に対応するのが難しい。例年と同様に中央図書館に伝える一方、図書スタッフに直接伝えられた場合には丁寧に現状を伝えて理解を求めている。

▼アンケート結果は、冊子にしてアトリウムで1か月間掲示。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	36,614	37,926	1,312
指定管理業務収入	36,614	37,926	1,312
指定管理費	27,742	27,742	0
利用料金	8,322	9,185	863
その他	550	999	449
自主事業収入	0	0	0
支出	36,564	37,424	860
指定管理業務支出	36,564	37,424	860
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	50	502	452
自主事業による利益還元			0
法人税等	50		▲ 50
純利益	0	502	502

【参考】	R5年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	175	下記のとおり

▽ 説明

- ・「読み聞かせ」と「花壇整備」のボランティアサークルへの助成金
- ・備品購入(ダイナミックマイク・手投げ金庫・ラミネーター)
- ・エアコン修理

▼その他の収入内訳
講座収入・コピーサービス・古紙回収の他、光熱費高騰による指定管理費見直し分として749,495円。

▼利用料金収入は過去最高だったが、光熱費の高騰で支出が膨らんだ。札幌市からの補填があったことで、赤字決算には至らずに済んだ。

▼R5年度決算における法人税は、支出項目「法人経費」に含んでいる。

A	B	C	D
計画に対して、収益が大きくなっているとともに、利益還元も行われている。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼ワーカーズコープは全国組織であり、単体で赤字の出る事業所があれば全体でカバーする方式。この為組織全体の経営能力は安定している。

適	不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼地区センターの管理運営に関する各種条例については、常にそれらを遵守する姿勢で臨んでいる。

▼「暴力団排除推進条例」については、聞きなれない団体等の問い合わせや申し込みの際に、詳しく利用内容を聞いたりインターネット検索をするなど、出来る限りの情報収集に努め、暴力団の排除に積極的に取り組む。条例にのっとり「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」に従って必要な対応を行い、札幌市に相談・指示に従う事とする。

▼R5年度より、札幌市へ個人情報取扱状況報告書を毎月提出。日常業務において安全管理をより意識するようになった。メールの誤送信や詐欺メールへの対応、USBを使用しないなど、知識のなさをうっかりで危険を招かないよう、札幌市からの研修資料を冊子にしていつでも確認できるようにしている。

▼「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」は冊子にして備え、何かあった場合はすぐに読むことが出来るようにしている。

▼札幌市委託業務受注者向け「札幌市情報セキュリティ研修」を2/18~3/5スタッフ全員が受けた。

適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>▼R5年度は2つの意味で再出発の年だった。一つは新しい更新期間5年の始まりの年であり、もう一つは新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行したことにより規制がなくなり中止していた事業を再開した…という意味で。交流事業や施設活用事業の再開についてはただ元に戻すのではなく、必要な質・量を見極め、何が求められ何ができるか？を話し合いながら、新しいスタイルを取り入れ、時流に合わせて、試行錯誤しながら全員でがんばってきた1年だった。</p> <p>▼利用料収入＝R5年度も前年度に続いて過去最高の利用料収入を上げた。2年続けて近隣施設の休館の影響があり、収入増につながった。その他に、アフターコロナの特徴として、個人・家族・仲間など大きくない単位での貸室申込みが増え、ホール半面やC室の時間貸しでバドミントンや楽器練習・ダンス練習等の利用者が大幅に増えた。</p> <p>▼講座・交流事業＝両事業ともに計画を上回る数で実施することができた。スタッフが講師を務める講座や、ギター演奏と進行役を務める「うたの会」は人気の事業。コロナ禍に中止を余儀なくされた「うたの会」は再開を喜ぶ地域住民が毎月50人ほど集まってくれる。医療法人の協力を得て開催した「健康フェスタ」には200人を超える参加者があった。</p> <p>▼施設活用事業＝6年目の「リフレッシュ運動教室」や2年目の「おはなし会」は「地域の憩いの場づくり施設活用事業」として定着している。コロナ禍にできなかったいわゆる「無料開放」は、毎月1回ずつ実施日を固定して5月から「親子限定」「親子・子ども」「卓球」「バドミントン」を再開。ほど良い人数が楽しむ事業になった。その他、他団体の活動報告・サークルの作品展示・学校の施設見学など、多様な形で施設を活用してもらおう場の提供も、施設活用事業ととらえている。</p> <p>▼福祉施策への取組み＝6年目になる有償ボランティアMさんには清掃作業や屋上除雪などをしてもらって、とても助かっている。「健康フェスタ」では、福祉作業所の皆さんに参加してもらい、イベントを盛り上げてもらった。</p> <p>▼他団体との協力＝二つの連合町内会、地域の小中学校、福祉のまち推進センター、八軒地区の医療法人、介護予防センター八軒、西区第1包括支援センター、西区第1エリア生活支援推進員(第2層生活支援コーディネーター)などこれまでの協力体制がより強固になった1年だった。パネル展示・お話を聞く会を経て「はちけん・ティッシュ協力隊!!」で協力するようになったNPO法人イナクル「長期入院の子どもと付き添い家族を支える会」との出会いで、地区センターだからこそその可能性に気付くことができたのは大きな収穫だった。</p>	<p>▼2つの意味で再出発のR5年度を引き継いで、R6年度も各事業を進めていく。スタッフ間の積極的な話し合いとともに地域住民や利用者との日常的な会話を大切に、はちけん地区センターを「地域活性化の拠点」にしていきたい。一方で、近年施設や備品の老朽化・経年劣化に悩まされるが増えてきている。保証期間を過ぎて更新を勧められているエアコンや自動ドア・床暖房を含むボイラー等の他にも不具合が多く、R6年度は札幌市への相談事項が増えるのではないかと懸念している。</p> <p>▼R6年度利用料収入については、過去2年を超えることはできないかもしれないが、ホール半面・時間貸しなど活発な申し込みを期待している。既存の利用者・新規利用者にかかわらず、質問や問い合わせには正確で分かりやすい対応がとれるように、職員のスキルアップを心がけ、利用率が上がるようにしたい。</p> <p>▼コロナ禍に生まれた参加型展示の交流事業「はちけんみんなのひろば」は平常時においても来館者に楽しんでもらえる手段として今後も続けていく。R6年4月には5年ぶりの「春のフェスタ」を開催・フリーマーケットに500人の地域住民が来てくれた。講座にしても交流事業にしても、今できる形を見極めながら開催していきたい。</p> <p>▼R6年度も、定番になった「リフレッシュ運動教室」や「おはなし会」、毎月1回ずつに固定した「いわゆる無料開放」の他にも、形にとらわれずに多様な形で他団体やサークル・学校に「場の提供」をしていきたい。2年ぶりに北大生の社会教育実習受け入れの問い合わせが来ている。地区センターを丸ごと活用してもらえるよう協力したい。</p> <p>▼「札幌市就労支援体験事業」の就労体験はしばらく途絶えているが、希望者がいる場合は体験の場として受け入れていきたい。有償ボランティアのMさんや、福祉作業所によるイベントでの物販など、これまでやって来たことを継続する。</p> <p>▼地域や高齢者・福祉に関する団体の定期通信やチラシなどは一つのパネルに集めて掲示し、地域包括ケアの観点から各団体との協力体制を継続していく。R5年度第4回運営協議会において、対応に苦慮している利用者について相談したことが、民生委員の方のご尽力で第1包括支援センターにつながり、当事者・ご家族の安心につながった。地区センターには高齢で困難を抱えた方が来館することが多く、今後も第1包括とのつながりを大事にしていきたい。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>各項目において、要求水準を満たしている。また成果指標の達成率が高く、収支状況も安定している。人気の事業の継続や、新規事業の創出により、引き続き稼働率の維持向上に向けた取り組みを実施していただきたい。</p>	